



デバイス プールの設定

デバイス プールの設定では、複数のデバイスに共通の特性をまとめて指定します。デバイス プールには、次のデバイス特性を指定することができます。

- Cisco Unified CallManager グループ
- 日付 / 時間グループ
- リージョン
- ソフトキー テンプレート
- SRST リファレンス
- 自動登録用のコーリング サーチ スペース
- メディア リソース グループ リスト
- Music On Hold (MOH) オーディオ ソース
- ユーザ ロケールおよびネットワーク ロケール
- SRST と Cisco Unified CallManager 間の通信用のコネクション モニタ持続タイマー
- MLPP の設定値

デバイス プールを追加、更新、または削除するには、次のトピックを参照してください。

- [デバイス プールの検索 \(P.9-2\)](#)
- [デバイス プールの設定 \(P.9-4\)](#)
- [デバイス プールの設定値 \(P.9-5\)](#)
- [デバイス プールの削除 \(P.9-9\)](#)
- [関連項目 \(P.9-9\)](#)

デバイス プール、およびデバイス プールを通じて割り当てられるデバイス設定値の詳細については、『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「システム レベルのコンフィギュレーション 設定」を参照してください。

デバイス プールの検索

ネットワーク内にはいくつかのデバイス プールが存在することがあるので、Cisco Unified CallManager の管理ページでは、固有の条件を指定して、特定のデバイス プールを見つけることができます。デバイス プールを見つける手順は、次のとおりです。



(注) Cisco Unified CallManager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、デバイス プールの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、デバイス プールの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [システム] > [デバイスプール] の順に選択します。

[デバイス プールの検索と一覧表示 (Find and List Device Pools)] ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウン リスト ボックスを使用して、デバイス プールを検索します。

ステップ 2 最初の [検索対象: デバイスプール、検索条件:] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [デバイスプール名]
- [Cisco Unified CallManager グループ]
- [リージョン]



(注) このドロップダウン リスト ボックスで選択する条件によって、検索時に生成されるデバイス プール リストのソート方法が決まります。たとえば、[リージョン] を選択すると、[リージョン (Region)] 列が結果リストの左側の列に表示されます。

2 番目の [検索対象: デバイスプール、検索条件:] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列で終わる]
- [が次の文字列と等しい]
- [が空ではない]
- [が空である]

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索] をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。



ヒント データベースに登録されているデバイス プールをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに [検索] をクリックします。

検出されたデバイス プールのリストが、次の項目別に表示されます。

- [名前 (Name)]
- [Unified CallManager グループ (Unified CallManager Group)]
- [リージョン (Region)]
- [日時グループ (Date/Time Group)]



(注) 該当するデバイス プールの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、[デバイスプールの検索と一覧表示 (Find and List Device Pools)] ウィンドウから複数のデバイス プールを削除できます。検索結果表示のタイトルバーにあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、ウィンドウ内のすべてのデバイス プールを削除できます。

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件と一致する [名前 (Name)]、[Unified CallManager グループ (Unified CallManager Group)]、[リージョン (Region)]、または [日時グループ (Date/Time Group)] をクリックします。

選択したデバイス プールがウィンドウに表示されます。

追加情報

[P.9-9 の「関連項目」](#) を参照してください。

デバイス プールの設定

デバイス プールを Cisco Unified CallManager データベースに追加、コピー、または更新する手順は、次のとおりです。新しいデバイス プールをデータベースに追加した後、そのデバイス プールを使用して、Cisco Unified IP Phone、ゲートウェイ、会議ブリッジ、トランスコーダ、メディアターミネーションポイント、ボイスメールポート、CTI ルートポイントなどのデバイスを設定できます。

始める前に

デバイス プールに対して次の項目を選択する場合は、デバイス プールを設定するとき、事前に、その項目を設定しておく必要があります。

- Cisco Unified CallManager グループ (必須)。P.4-4 の「Cisco Unified CallManager グループの設定」を参照してください。
- 日付/時間グループ (必須)。P.6-4 の「日付/時間グループの設定」を参照してください。
- リージョン (必須)。P.8-3 の「リージョンの設定」を参照してください。
- SRST リファレンス (オプション)。P.16-3 の「SRST リファレンスの設定」を参照してください。
- メディア リソース グループ リスト (オプション)。P.60-4 の「メディア リソース グループ リストの設定」を参照してください。
- MOH オーディオ ソース (オプション)。『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「Music On Hold オーディオ ソースの検索」を参照してください。
- 自動登録用のコーリング サーチ スペース (オプション)。P.42-3 の「コーリング サーチ スペースの設定」を参照してください。
- ソフトキー テンプレート (Cisco Unified CallManager に付属している標準ソフトキー テンプレートを使用しない場合) (オプション)。P.77-4 の「非標準ソフトキー テンプレートの追加」を参照してください。

手順

ステップ 1 [システム] > [デバイスプール] の順に選択します。

[デバイスプールの検索と一覧表示 (Find and List Device Pools)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- 既存のデバイス プールをコピーするには、対象となるデバイス プールを見つけて (P.9-2 の「デバイスプールの検索」を参照)、コピーするデバイス プールの横にある [コピー] ボタンをクリックし、ステップ 3 に進みます。
- 新しいデバイス プールを追加するには、[新規追加] ボタンをクリックし、ステップ 3 に進みます。
- 既存のデバイス プールを更新するには、対象となるデバイス プールを見つけて (P.9-2 の「デバイスプールの検索」を参照)、ステップ 3 に進みます。

ステップ 3 適切なフィールドに値を入力します (表 9-1 を参照)。

ステップ 4 [保存] をクリックして、デバイス プール情報をデータベースに保存します。

追加情報

P.9-9 の「関連項目」を参照してください。

デバイス プールの設定値

表 9-1 では、デバイス プールの設定値を一覧表示し、説明します。関連する手順については、P.9-9 の「関連項目」を参照してください。

表 9-1 デバイス プールの設定値

フィールド名	説明
[デバイスプールの設定 (Device Pool Settings)]	
[デバイスプール名]	作成する新規デバイス プールの名前を入力します。
[Cisco Unified CallManager グループ]	このデバイス プール内のデバイスに割り当てる Cisco Unified CallManager グループを選択します。1 つの Cisco Unified CallManager グループでは、最高 3 つの Cisco Unified CallManager の優先順位をリストで指定しています。リスト内の最初の Cisco Unified CallManager が、そのグループのプライマリ Cisco Unified CallManager となり、残りは、冗長性を確保するためのバックアップ Cisco Unified CallManager となります。
[日時グループ (Date/Time Group)]	このデバイス プール内のデバイスに割り当てる日付 / 時間グループを選択します。日付 / 時間グループは、タイム ゾーン、および日付と時刻の表示形式を指定します。
[リージョン]	このデバイス プール内のデバイスに割り当てる Cisco Unified CallManager リージョンを選択します。Cisco Unified CallManager リージョンの設定値は、リージョン内および他のリージョン間でコールに使用できる音声コーデックを指定します。
[ソフトキーテンプレート (Softkey Template)]	ドロップダウン リスト ボックスから、デバイス プール内のデバイスに関連付けられているソフトキー テンプレートを選択します。
[SRST 参照先 (SRST Reference)]	ドロップダウン リスト ボックスから、このデバイス プール内のデバイスに割り当てる Survivable Remote Site Telephony (SRST) リファレンスを選択します。次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Disable] : このオプションを選択すると、このデバイス プール内のデバイスは SRST リファレンス ゲートウェイを使用できなくなります。 • [Use Default Gateway] : このオプションを選択すると、このデバイス プール内のデバイスはデフォルトの SRST ゲートウェイを使用します。 • 既存の SRST リファレンス : ドロップダウン リストから SRST リファレンスを選択すると、このデバイス プール内のデバイスはこの SRST リファレンス ゲートウェイを使用します。
[自動登録用コーリングサーチスペース (Calling Search Space for Auto-registration)]	Cisco Unified CallManager に自動登録されるこのデバイス プール内のデバイスに割り当てる、コーリングサーチ スペースを選択します。コーリングサーチ スペースは、コールを完了しようとするときにデバイスが検索できるパーティションを指定します。
[メディアリソースグループ リスト (Media Resource Group List)]	ドロップダウン リスト ボックスから、メディア リソース グループ リストを選択します。メディア リソース グループ リストは、優先順位順に並べられたメディア リソース グループのリストを指定します。アプリケーションは、メディア リソース グループ リストに定義されている優先順位にしたがって、使用可能なメディア リソース グループから、必要なメディア リソース (たとえば、music on hold サーバ、トランスコーダ、会議ブリッジ) を選択します。

表 9-1 デバイス プールの設定値 (続き)




フィールド名	説明
[ネットワーク保留-MOH 音源 (Network Hold MOH Audio Source)]	ネットワークが保留操作を開始するときに、music on hold (MOH) に使用するオーディオ ソースを選択します。
[ユーザ保留-MOH 音源 (User Hold MOH Audio Source)]	ユーザが保留操作を開始するときに、music on hold (MOH) に使用するオーディオ ソースを選択します。
[ネットワークロケール (Network Locale)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、電話機とゲートウェイに関連したロケールを選択します。そのネットワーク ロケールは、特定地域にあるデバイス プールの電話機とゲートウェイが使用するトーンおよび断続周期の定義を含んでいます。このデバイス プールを使用する電話機とゲートウェイのすべてがサポートしているネットワーク ロケールを選択してください。</p> <p> (注) ユーザがネットワーク ロケールを選択しない場合は、Cisco Unified CallManager clusterwide パラメータでデフォルトネットワーク ロケールとして指定されたロケールが適用されます。</p> <p> (注) 関連するデバイスによってサポートされているインストール済みのネットワーク ロケールのみを選択してください。このリストにはこの設定に使用できるネットワーク ロケールがすべて示されていますが、そのすべてがインストールされているわけではありません。デバイスは、ファームウェアにおいてサポートしていないネットワーク ロケールと関連付けられると、起動に失敗します。</p>
[ユーザロケール (User Locale)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、デバイス プールの中の電話機とゲートウェイに関連するロケールを選択します。そのユーザロケールは、言語とフォントを含んだ、ユーザをサポートする一連の詳細情報を識別します。</p> <p> (注) ユーザがユーザ ロケールを選択しない場合は、Cisco Unified CallManager clusterwide パラメータでデフォルトユーザ ロケールとして指定されたロケールが適用されます。</p>

表 9-1 デバイスプールの設定値 (続き)





フィールド名	説明
[接続モニタ間隔 (Connection Monitor Duration)]	<p>この設定値は、IP Phone が SRST から登録解除され Cisco Unified CallManager に再登録される前に、Cisco Unified CallManager への接続を監視する時間を定義します。</p> <p>デフォルト値は 120 秒で、Connection Monitor Duration エンタープライズパラメータに属します。</p> <p>コネクション モニタを使用不可にする (値を 0 に変更する) 必要がある場合、またはコネクション モニタの時間を延長する場合は、この設定値を変更します。</p> <p> (注) [接続モニタ間隔 (Connection Monitor Duration)] の値を変更した場合、その値は更新されたデバイスプールだけに適用されます。それ以外のすべてのデバイスは、固有の [接続モニタ間隔 (Connection Monitor Duration)] フィールドの値またはエンタープライズパラメータで設定された値を使用します。</p> <p>詳細については、『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「SRST リファレンス」を参照してください。</p>
[MLPP 情報 (Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) Information)]	
[MLPP 表示 (MLPP Indication)]	<p>この設定値は、デバイスが MLPP 優先コールを発信する場合、優先トーンを再生できるデバイスプール内のデバイスで MLPP の機能を使用するかどうかを指定します。</p> <p>ドロップダウンリストボックスの次のオプションから、このデバイスプール内のデバイスへ割り当てる設定値を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Default] : このデバイスプールは、MLPP Indication Status エンタープライズパラメータから [MLPP 表示 (MLPP Indication)] 設定値を取得します。 • [Off] : このデバイスプール内のデバイスは、MLPP 優先コールの通知を処理しません。 • [On] : このデバイスプール内のデバイスは、MLPP 優先コールの通知を処理します。 <p> (注) 次の設定値の組み合わせでデバイスプールを設定しないでください。[MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] が [Forceful] に設定されている状態で、[MLPP 表示 (MLPP Indication)] を [Off] または [Default] に設定 (デフォルトが [Off] の場合)。</p> <p> (注) エンタープライズパラメータ、デバイスプール、またはデバイスレベルで [MLPP 表示 (MLPP Indication)] をオンにすると、[MLPP 表示 (MLPP Indication)] をデバイスに対してオフ (上書き) にしない限り、デバイスで回線に対する通常の呼び出し音設定が動作しません。</p>

表 9-1 デバイス プールの設定値 (続き)

フィールド名	説明
[MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)]	<p>この設定値は、デバイスが MLPP 優先コールを発信する場合、進行中のコールに割り込みできるデバイス プール内のデバイスで MLPP の機能を使用するかどうかを指定します。</p> <p>ドロップダウン リスト ボックスの次のオプションから、このデバイス プール内のデバイスへ割り当てる設定値を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Default]: このデバイス プールは、MLPP Preemption Setting エンタープライズ パラメータから [MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] 設定値を取得します。 • [Disabled]: 優先度の高いコールの終了が必要な場合、このデバイス プール内のデバイスは、優先度の低いコールを割り込みできません。 • [Forceful]: このデバイス プール内のデバイスは、優先度の高いコールの終了が必要な場合でも、優先度の低いコールを割り込みできます。 <p> (注) 次の設定値の組み合わせでデバイス プールを設定しないでください。[MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] が [Forceful] に設定されている状態で、[MLPP 表示 (MLPP Indication)] を [Off] または [Default] に設定 (デフォルトが [Off] の場合)。</p>
[MLPP ドメイン (MLPP Domain)]	<p>このデバイス プールに関連する MLPP ドメインの値を 16 進数 (0 ~ FFFFFFF) で入力します。このフィールドが空白の場合、このデバイス プールは MLPP Domain Identifier エンタープライズ パラメータの値セットから、MLPP ドメインを取得します。</p>

デバイス プールの削除

Cisco Unified CallManager データベースからデバイス プールを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

デバイスが割り当てられているデバイス プール、[デバイスのデフォルト設定 (Device Defaults Configuration)] に使用されるデバイス プール、またはデータベース内の唯一のデバイス プールなどは、削除できません。使用中のデバイス プールを削除しようとする、エラー メッセージが表示されます。現在使用中のデバイス プールを削除する場合は、事前に、次のどちらかまたは両方の作業を実行しておく必要があります。

- デバイスを更新して別のデバイス プールに割り当てる。P.70-6 の「[電話機の削除](#)」を参照してください。
- 削除するデバイス プールに割り当てられているデバイスを削除する。P.70-6 の「[電話機の削除](#)」を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** P.9-2 の「[デバイス プールの検索](#)」の手順を使用して、デバイス プールを検索します。
 - ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するデバイス プールを選択します。
 - ステップ 3** [選択項目の削除] をクリックします。
 - ステップ 4** 削除操作を確認するように求められたら、[OK] をクリックして削除します。削除操作を取り消すには、[キャンセル] をクリックします。
-

追加情報

P.9-9 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [デバイス プールの設定 \(P.9-1\)](#)
- [デバイス プールの検索 \(P.9-2\)](#)
- [デバイス プールの設定 \(P.9-4\)](#)
- [デバイス プールの削除 \(P.9-9\)](#)

